

【2021年卒 就職活動TOPIC】

対面とオンラインの就職活動、学生はどちらを希望する？
オンライン経験の量によって差

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 学）のよりよい就職・採用のあり方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：増本 全）は、就職みらい研究所学生調査モニターの大学生・大学院生を対象に「就職プロセス調査」を実施いたしました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

経験の量により、対面、オンラインの肯定度合いは変わる。企業は適切な手段の選択を



所長 増本 全

新型コロナウイルス感染症によって今年の就職・採用活動は大きく変化しました。その中でも最も注目されたのは就職活動のオンライン化でしょう。今回は2021年卒の学生に対し、各就職活動のプロセスについて「対面」「オンライン」のどちらを希望するかを調査しました。その結果、「学生全体」で見ると「対面」を希望する学生が多いものの、「オンライン就職活動」の経験の量によってその希望には差があることが分かりました。例えば、「個別企業の説明会」は「Web説明会未経験の学生」のうち49.2%が対面での実施を希望しているのに対し、Web説明会の経験企業数が「10社以上」の学生は58.5%がオンラインでの実施を希望するなど逆転しています。先日「Web面接における不安」でお知らせしたように「経験する」ことによって不安を感じる割合や、内容も変わってきます。企業の皆さんは、今後2022年卒の採用活動についてどのように採用活動を行うか検討されていくのではないかと思います。今、学生に直接希望を聞けば、おそらくオンライン経験が少ない学生は対面での実施を希望するでしょう。しかし、対面、オンラインそれぞれにメリット、デメリットがあり、企業、学生ともに経験することによる慣れもあります。各プロセスで実施したいことにどちらの手法が最適なのかを検討しながら対面、オンラインの手法を取り入れていく必要があります。

個別企業の説明会における対面・オンライン希望(Web説明会経験企業数別)

大学生_全体（就職活動経験者/単一回答）※大学院生除く

●凡例	対面希望					オンライン希望	
	対面希望	どちらかという 対面希望	どちらともい えない	どちらかという オンライン希望	オンライン希望	対面 希望・計	オンライン 希望・計
全体	24.9	21.5	15.2	17.1	21.3	46.4%	38.4%
未経験者	30.0	19.2	20.3	13.2	17.4	49.2%	30.5%
1~4社	26.0	27.4	15.0	11.4	20.2	53.4%	31.6%
5~9社	21.3	30.4	7.5	21.7	19.1	51.7%	40.8%
10社以上	16.1	15.3	10.1	27.0	31.5	31.4%	58.5%

本件に関する
お問合せ先株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
TEL：03-3211-7117 MAIL：kouho@waku-2.com

Web上での個別企業の説明会の経験企業数と対面・オンライン希望

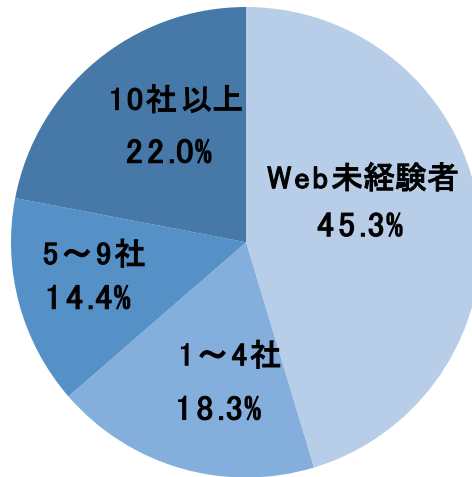
Web上での説明会の経験有無で、対面・オンライン希望に差

・ Web上での個別企業の説明会の経験企業数別に見ると「Web未経験者」が45.3%、「1~4社」が18.3%、「5~9社」が14.4%、「10社以上」が22.0%であった。

・ 個別企業の説明会における対面・オンラインの希望をWeb上での個別企業の説明会経験企業数別に見ると、オンライン希望の学生は「未経験者」が30.5%、「1~4社」が31.6%、「5~9社」が40.8%、「10社以上」が58.5%であった。

Web上で開催される個別企業の説明会の経験企業数

大学生_全体（就職活動経験者/単一回答） ※大学院生除く



個別企業の説明会における対面・オンライン希望(Web説明会経験企業数別)

大学生_全体（就職活動経験者/単一回答） ※大学院生除く

	(%)					対面希望・計	オンライン希望・計
	対面希望	どちらかというに対面希望	どちらともいえない	どちらかというにオンライン希望	オンライン希望		
● 凡例							
全体	24.9	21.5	15.2	17.1	21.3	46.4%	38.4%
未経験者	30.0	19.2	20.3	13.2	17.4	49.2%	30.5%
1~4社	26.0	27.4	15.0	11.4	20.2	53.4%	31.6%
5~9社	21.3	30.4	7.5	21.7	19.1	51.7%	40.8%
10社以上	16.1	15.3	10.1	27.0	31.5	31.4%	58.5%

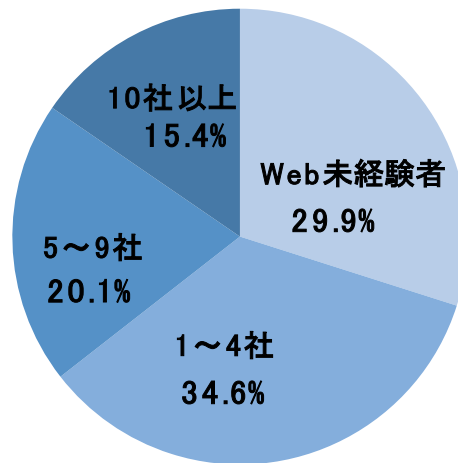
Web上での面接の経験企業数と対面・オンライン希望

Web面接の経験有無で、対面・オンライン希望に差

- ・ Web上で面接の経験企業数を見ると「Web未経験者」が29.9%、「1～4社」が34.6%、「5～9社」が20.1%、「10社以上」が15.4%であった。
- ・ 面接における対面・オンラインの希望をWeb面接経験企業数別に見ると、オンライン希望の学生は「未経験者」が9.3% 「1～4社」が24.9%、「5～9社」が32.5%、「10社以上」が30.4%であった。

Web上での面接の企業数

大学生_全体（就職活動経験者/単一回答） ※大学院生除く



面接における対面・オンライン希望(Web面接経験企業数別)

大学生_全体（就職活動経験者/単一回答） ※大学院生除く

凡例	面接における対面・オンライン希望 (Web面接経験企業数別)					対面希望・計 (%)	オンライン希望・計 (%)	
	対面希望	どちらかというに対面希望	どちらともいえない	どちらかというにオンライン希望	オンライン希望			
● 全体	37.3		23.0	17.0	12.2	10.4	60.3%	22.6%
● 未経験者	52.1		23.7	14.9	4.8	4.5	75.8%	9.3%
● 1～4社	36.8		28.4	9.8	10.1	14.8	65.2%	24.9%
● 5～9社	24.5	11.7	31.3		23.1	9.4	36.2%	32.5%
● 10社以上	26.5	24.4	18.7		16.8	13.5	50.9%	30.4%

Web上での最終面接の経験企業数と対面・オンライン希望

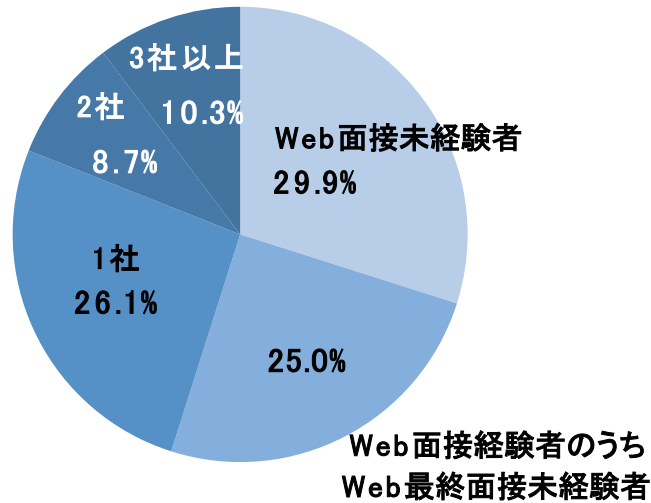
Web上での最終面接の経験有無で、対面・オンライン希望に差

・ Web上で最終面接の経験企業数を見ると「Web面接未経験者」が29.9%、「Web面接経験者のうち、Web最終面接未経験者」が25.0%、「1社」が26.1%、「2社」が8.7%、「3社以上」が10.3%であった。

・ 最終面接における対面・オンラインの希望をWeb上での最終面接の経験企業数別に見ると、オンライン希望の学生は「Web面接未経験者」が4.9%、「Web面接経験者のうち、Web最終面接未経験者」が15.7%、「1社」が14.8%、「2社」が11.7%、「3社以上」が24.1%であった。

Web上での最終面接の経験企業数

大学生_全体（就職活動経験者/単一回答） ※大学院生除く



最終面接における対面・オンライン希望(最終面接経験企業数別)

大学生_全体（就職活動経験者/単一回答） ※大学院生除く

凡例	経験企業数別 (%)					対面希望・計	オンライン希望・計
	対面希望	どちらかという 対面希望	どちらともい ない	どちらかという オンライン希望	オンライン希望		
● 全体	53.2	20.5	13.6	5.2	7.5	73.7%	12.7%
Web面接未経験者	64.0	17.9	13.3	0.8	4.1	81.8%	4.9%
Web面接経験者のうち Web最終面接未経験者	58.0	15.7	10.6	8.4	7.3	73.7%	15.7%
1社	46.6	27.1	11.5	6.3	8.4	73.7%	14.8%
2社	42.3	22.3	23.6	1.6	10.1	64.6%	11.7%
3社以上	36.3	21.4	18.2	10.8	13.3	57.6%	24.1%

Web面接について学生の意見

Web面接を経験することで、見えてくるWebの良さがある一方で、不安もある

- ・「就職活動について考えていること」について学生に聴取し、Web上での就職活動についての意見を抽出した。すると「初めは不安な気持ちが大きかったが、慣れてくるとスケジュールが立てやすかった」や「両方を体験して、Web上の方がいいと思った」など実際に体験することで感じられる、Web面接の良さに注目する意見があることが分かる。
- ・反対に「会社の雰囲気を感じるには難しい」「働くイメージができない」など不満を感じる声もあった。

就職活動について考えていること(6月12日時点)

全体（就職活動経験者/自由回答）

コメント	キーワード
Web面接が大半であったため、初めは不安な気持ちが大きかった。でも、慣れてくると、Webの方がスケジュールを立てやすく、交通費もかからないので、そういった点ではメリットもあったと思う。	スケジュール調整しやすい 金銭的負担削減
前年度に活動をしていた先輩たちとは異なり、Web上での選考がほとんどであったため、金銭的・時間的な負担が軽減され、地方学生と都市学生の就職に関する格差が緩和されたように思う。今後もこの方式で進んでほしいと願う。	時間・金銭的負担削減 地域格差緩和
今回のコロナ禍によって就職活動がオンライン中心となり、地方に住む学生としてはむしろ活動が行いやすくなった。金銭的負担も少なく、数多くの企業と接触機会を持つことができた。また、企業側の状況に合わせた意思決定の迅速さをはかることができた。やはり最終、あるいはその前の面接まではオンラインでの活動を中心としても良いのではないだろうか。学生としては企業が交通費を負担してでも面接したいと思う段階までオンラインで進めることで金銭的負担を減らすことができる、というのは重要。	地域格差緩和 金銭的負担削減 企業との接触機会多数
対面とWeb上の両方の面接を経験して、個人的にはWeb上の方がよいと感じた。現地に赴く手間を省くことができ、自分の部屋で緊張が少なく済むことが大きな要因です。	移動無し 緊張少ない
オンライン面接も悪くない。移動時間がなくなり、授業との両立がしやすかった。	移動無し 授業との両立
スーツが暑いので対面ではなくWebで面接をしてほしい。	服装
このご時世だから仕方ないが、Web上での面接等の試験は、実際にその会社の雰囲気を感じるには難しい手段だなと感じました。	雰囲気
説明会がオンラインで実施されているので気軽に参加できる一方、目的が定まっていなくてただテレビを見ているような感覚で得るものがなくなってしまうと感じた。	気軽 テレビ感覚
最終面接は対面で行って欲しいです。Webではこちらも社員さんの雰囲気がよくわかりません。	雰囲気
企業と対面で会う機会が減り、残念だった。Web面接は遠方に住む学生にとっては参加しやすく負担が少ないと感じたが、物足りなさも感じた。	地域格差緩和 物足りなさ
新型コロナウイルスによってWebによる面接が増えていると思いますが、対面と違い、自分の良さをうまく伝えられるのかとても不安であった。	自分の良さを 伝えられるか
対面で就職先の方と会っていないため、働くイメージができない。また、ほとんどWeb上で終わってしまい、就職活動に対して手応えがなかった。	働くイメージ

調査概要

調査目的 | 大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する

調査方法 | インターネット調査

集計方法 | 大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体をもとに、実際の母集団の構成比に近付けるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

2021年卒：2020年6月12日時点

調査対象 | 2021年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2021』（※）にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生4,198人（内訳：大学生3,325人/大学院生873人）

調査期間 | 2020年6月12日～6月19日

集計対象 | 大学生 915人/大学院生 377人

※リクナビ：株式会社リクルートキャリアが運営している、就職活動を支援するサイト

<https://job.rikunabi.com/2021/>

モニターの抽出条件

「卒業後の志望進路（志望する進路の全て）」の回答状況をもとに、次の条件で対象を抽出

本調査対象 = 「就職意向者（就職志望者＋志望進路未決定者）」（※モニター募集時）

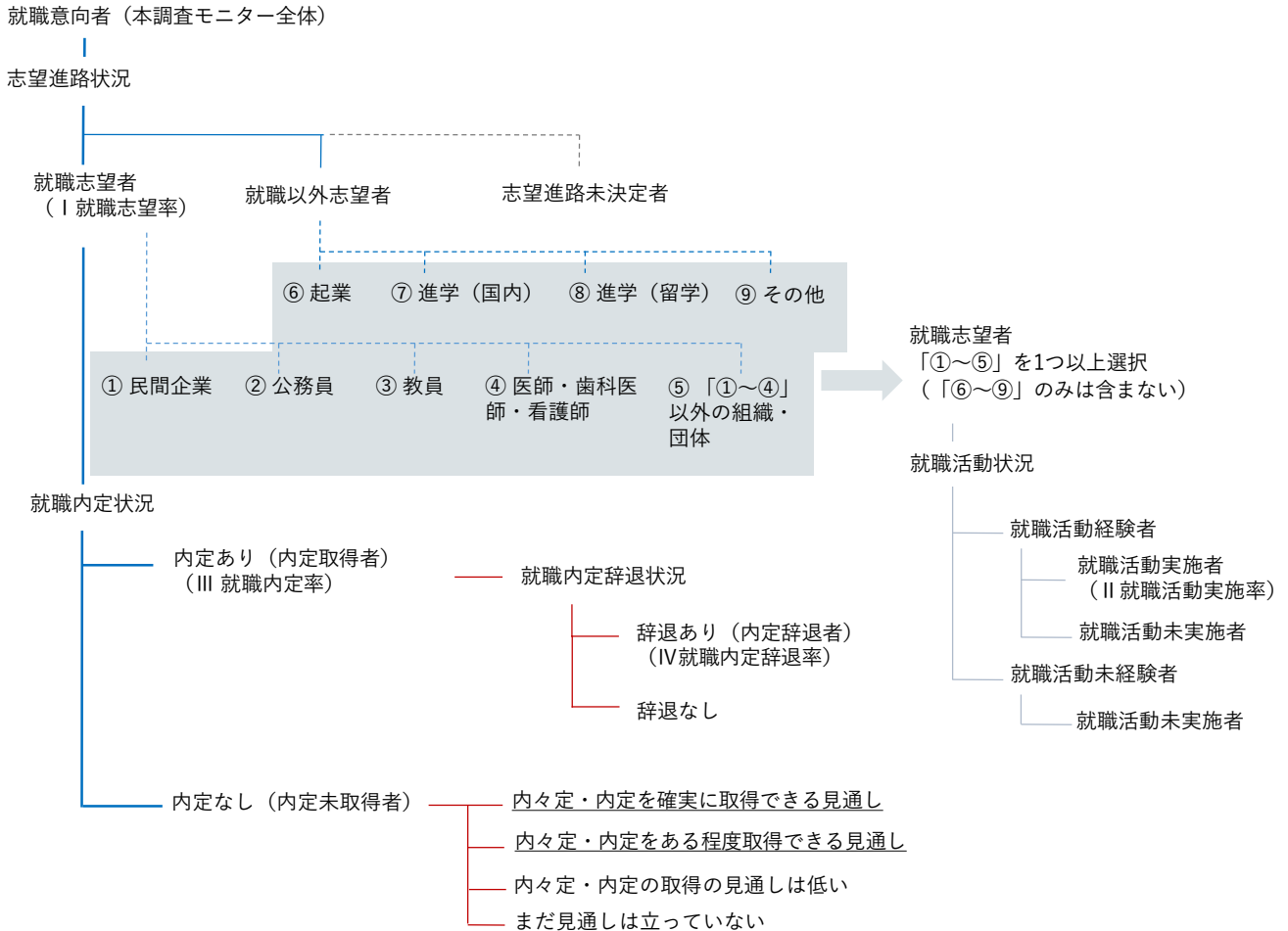
本調査対象については、以下を除いた

- 就職志望者のうち「②公務員」「③教員」「④医師・歯科医師・看護師」のみ選択した者
- 就職以外「⑥起業」「⑦進学(国内)」「⑧進学(留学)」「⑨その他」のみ選択した者

調査結果を見る際の注意点

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある

就職志望者から見た内定状況の構図



<各率の算出方法> 【時点：「当該月1日時点」】

I 就職志望率	=	就職志望人数 ÷ 就職意向人数
II 就職活動実施率	=	就職活動実施人数 ÷ 就職志望人数
III 就職内定率	=	就職内定取得人数 ÷ 就職志望人数
IV 就職内定辞退率	=	就職内定辞退人数 ÷ 就職内定取得人数

<用語の定義>

- 就職意向者 = 当初 (本調査モニター募集時) の志望進路が「就職」および「未決定」者
- 就職志望者 = 当月、就職を志望している者
- 就職活動実施者 = 当月、就職活動を実施している者 (※)
- 就職活動経験者 = 当月までに就職活動の経験がある者
- 就職内定取得者 = 当月までに内定 (内々定) の取得経験のある者
- 就職内定未取得者 = 当月までに内定 (内々定) の取得経験がない者
- 進路確定者 = 当月、進路が確定している者
進路確定率 = 進路確定人数 ÷ 就職意向人数
- 就職内定辞退者 = 当月までに内定 (内々定) の辞退経験がある者

※就職活動実施状況について、「している」「していない」の選択肢のうち、「している」と回答した者